

施策番号	1602		
施策名	活力ある長寿社会の実現		
概要	高齢者の知恵や経験，技能を，就労や社会参画に生かす取組を推進するとともに，日常生活における自主的な介護予防の取組を広めることにより，高齢者が主体的に取り組む健康づくりを支援する。		
担当局・部室	保健福祉局・長寿社会部	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	25年度	26年度	27年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト	
1 シルバー人材センター会員数(人)	b	c	5,224	5,140	5,485	93.7%	c	1.00	
2 老人福祉センター利用者数(人)	a	a	605,805	605,894	605,805	100.0%	a	1.00	
3 介護予防事業参加者数(人)	a	a	2,242	2,222	2,026	109.7%	a	1.00	
4 高齢者の居場所設置数(箇所)	c	c	112	236	222	106.3%	a	1.00	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は，毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度回答						有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1 高齢者の知恵や経験，技能が社会に生かされている。	17 3.4%	97 19.6%	236 47.7%	98 19.8%	47 9.5%	495	c	
2 -								
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					26年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が高齢者に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						25年度	B
(原因分析) 【客観指標】●シルバー人材センター会員数については、特に65歳までの加入者が減少するなど雇用環境の変化により、前年度に引き続きc評価となった。 ●各老人福祉センター利用者数については、三世交代の取組など重点的に取り組む事業を明確にし、メリハリをつけた運営を行った結果、利用者は過去5年間の最高値を上回り、3年連続a評価と高い評価で安定している。 ●介護予防事業参加者数については、これまでよりも一層、事業の普及・啓発に取り組んだ結果、目標値を上回り、3年連続a評価と高い評価で安定している。 ●高齢者の居場所設置数は、事業の周知・広報に積極的に取り組んだ結果、25年度より大幅に状況が改善し、c→a評価と改善した。 【市民の実感】高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされていると実感しきれていない現状がうかがえるため、5割近くの方が「どちらとも言えない」と回答し、昨年度に引き続きc評価となっている。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		27年度事務事業評価結果における目標達成度評価	担当局
		26年度決算額	27年度予算額		
1	老人医療費支給事業	1,903,892	1,174,061	良い	保健福祉局
2	市バス・地下鉄敬老乗車証交付事業	5,072,738	5,208,372	良い	保健福祉局
3	すこやか生活支援介護予防事業(60~64歳)	5,462	6,226	普通	保健福祉局
4	健康すこやか学級	95,520	115,700	良い	保健福祉局
5	老人スポーツ普及事業	1,394	1,394	普通	保健福祉局
6	老人園芸ひろば	5,412	5,010	かなり良い	保健福祉局
7	老人クラブ補助等事業	85,027	86,304	良い	保健福祉局
8	老人クラブハウス助成	6,349	6,821	良い	保健福祉局
9	シルバー人材センター運営事業	75,157	79,203	良い	保健福祉局
10	敬老記念品贈呈事業	11,917	12,177	良い	保健福祉局
11	全国健康福祉祭参加者派遣	13,855	14,765	普通	保健福祉局
12	「市民すこやかフェア」開催助成	7,280	7,089	普通	保健福祉局
13	地域介護予防推進事業	644,245	600,083	かなり良い	保健福祉局
14	すこやか生活支援介護予防事業	33,859	35,432	良い	保健福祉局
15	二次予防事業対象者把握事業	131,556	148,219	良い	保健福祉局
16	知恵シルバーセンター運営事業	6,549	6,466	良い	保健福祉局
17	介護予防安心住まい推進事業	2,601	2,804	かなり良い	保健福祉局
18	高齢者の居場所づくり支援事業	11,532	16,719	良い	保健福祉局
19	左京合同福祉センター管理運営	16,816	16,816	—	保健福祉局
20	久多いきいきセンター運営	6,884	6,700	—	保健福祉局
21	京都市老人いこいの家	13,205	13,955	—	保健福祉局
22	老人福祉センター運営	287,179	290,241	—	保健福祉局
23	老人保養センター	29,914	29,869	—	保健福祉局
24	高齢者すまい・生活支援モデル事業	4,289	7,289	—	保健福祉局
25	高齢者地域就業開拓事業	20,669	21,925	—	保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- シルバー人材センターについては、入会説明会を適宜開催することにより、事業内容や会員の役割等を高齢者へ周知し、入会していただくよう取り組むことで、会員数の増加に努める。
- 老人福祉センターについては、既存の事業に加え、多世代交流事業等を通じて、更なる利用者数の増加と交流機会の拡大を図る。
- 介護予防事業については、国の動向を踏まえて対象者の把握方法について検討を進める。事業参加者数については、地域介護予防推進センター、地域包括支援センターと協力し、より多くの対象者を把握し、事業参加者数の増加につなげていく。
- 高齢者の居場所づくりについては、26年度の取組内容を活かし、一層の事業の周知等により、京都市民長寿すこやかプランに定められた目標値を達成できるよう努める。
- 高齢者の知恵や経験、技能を社会に活かすため、より幅広い分野での活用機会の拡大を図る。

施策名	1602	活力ある長寿社会の実現				
指標名	シルバー人材センター会員数（人）					
担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106			
1 指標の説明						
シルバー人材センターに登録している会員の総数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
高齢者の就業等を通じた社会参加や生きがいづくりの推進状況を示す指標			算出方法：シルバー人材センターに登録している高齢者数 出典：シルバー人材センター事業統計年報			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	5,224	5,140	84人減	5,485	前年度会員数の5%増	93.7%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
単年度目標に対する達成度が、 a：100%以上 b：95%以上100%未満 c：90%以上95%未満 d：85%以上90%未満 e：85%未満～			前年度会員数の5%増を目標値として設定し、目標値の100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。		25	
					26	
					27	
					b	
					c	
					c	
指標名	老人福祉センター利用者数（人）					
担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106			
1 指標の説明						
老人福祉センター（市内17箇所）を利用した方の延べ人数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
各種相談、健康増進事業、教養講座など、高齢者のニーズに応じたサービスの利用状況を示す指標			算出方法：各施設から毎月提出される報告書から集計 出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	605,805	605,894	89人増	605,805	過去5年間の最高値	100.0%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		根拠
数値						
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果	
最新の数値を過去5年間の数値と比較して、 a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			利用者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：605,805（平成25年度） 平均値：578,155 最低値：566,423（平成23年度）		25	
					26	
					27	
					a	
					a	
					a	

施策名	1602	活力ある長寿社会の実現
-----	------	-------------

指標名	介護予防事業参加者数（人）
-----	---------------

担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

要支援・要介護となるおそれの高い高齢者を対象とした介護予防事業（二次予防事業※生活機能の低下により、要支援・要介護になるおそれがあると認定された高齢者に対する介護予防事業）への参加者数
※指標名の介護予防事業参加者数とは、二次予防事業参加者数である。

2 指標の意味

介護予防の取組状況を表す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	2,242	2,222	20人減	2,026	「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる当該年度の目標値	109.7%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		2,026	26年度	109.7%	第5期京都市民長寿すこやかプラン

備考	「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる目標値 平成24年度：1,437人 平成25年度：1,725人 平成26年度：2,026人
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a:100%以上
b:80%以上～100%未満
c:60%以上～80%未満
d:40%以上～60%未満
e:40%未満

6 基準説明

第5期京都市民長寿すこやかプランにおける二次予防事業の参加者数目標値と設置参加者数実績を比較し、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
a	a	a

指標名	高齢者の居場所設置数（箇所）
-----	----------------

担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

市内にある高齢者居場所づくり助成制度の要件を満たした高齢者の居場所箇所数

2 指標の意味

高齢者の孤立化防止や地域での見守り活動など、高齢者の地域での福祉向上を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	25年度	26年度		数値	根拠	達成度
数値	112	236	124箇所増	222	「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる当該年度の目標値	106.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値		222	26年度	106.3%	第5期京都市民長寿すこやかプラン

備考	「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる目標値 平成24年度：110箇所 平成25年度：166箇所 平成26年度：222箇所
----	---

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が、
a:100%以上
b:80%以上100%未満
c:60%以上80%未満
d:40%以上60%未満
e:40%未満

6 基準説明

第5期京都市民長寿すこやかプランにおける居場所の設置目標値と設置実績を比較し、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

25	26	27
c	c	a